

2018年5月17日

## 明治大学情報コミュニケーション学部専任教員公募要領

明治大学情報コミュニケーション学部長

大黒 岳彦

標記の件について、下記の要領により専任教員を公募します。

### 記

#### 1 募集科目・任用職名及び人員

「情報社会と経済」

准教授又は専任講師 1名

#### 2 担当科目及び仕事内容

任用後は、主として次の科目等を担当する。

「情報社会と経済」及び「ゼミナール科目」その他関連科目

その他、学部・大学院の教育研究に係わる業務及び大学の管理運営・入学試験関係業務など。

#### 3 科目内容・任用条件等

本学部は、「現代社会における情報コミュニケーションの意義、機能と問題点、解決策を、倫理学、思想・哲学を基礎として、社会学、法律学、経済学、政治学などの社会科学の観点から学際的・総合的に教育する」という理念の下に設立された学部である。

現代社会における問題を解決するためには、1つの学問分野だけでなく、複数の学問分野からの多角的な視座に基づく分析が必要であり、そのために、複数の社会科学の分野に基づく視座の習得が重要になる。問題を分析・解決する過程で、情報やコミュニケーションの重要性や意義を理解することができ、必要に応じて、それぞれのリテラシーを学生に身につけることも重要になる。

本学部にとって、現代社会やこれからの社会において何が問題であるかという問題意識を学生にもってもらうことがきわめて重要であり、現代の社会、そしてこれからの社会にとって重要な問題を授業やゼミナールのテーマとして取り上げてもらう必要がある。

現代の社会は、情報化、少子化、高齢化、グローバル化などによって特徴づけられている。授業では、情報化と経済との関係に焦点を当てた授業を行ってもらう必要があるが、情報化と経済の問題を広くとらえて、学生が現代の社会をトータルには把握できるような授業を提供してもらいたい。例えば、少子化は労働人口の減少につながり人手不足をもたらすが、それに対応すべく現代ではAIの技術が進み、具体的には自動レジや輸送用のドロ

ーンの開発が盛んになっている。また、こうしたAIの技術は自動運転の開発にも応用が進み、近い将来において高齢者に限らず、多くの人びとの運転技術や認知能力を補ったり、その負担を取り除くことがすでに期待されている。こうした技術が社会に浸透するかどうかは、市場の論理との兼ね合いにも依存している。この問題が解決したならば、将来的に経済や産業の構造が変換する可能性がある。そこで変化した労働市場のあり方の如何によっては、現代においても看過しえない、社会における経済格差がさらに激化する可能性もある。また、経済活動において情報産業の重要性がさらに高まっているのと同時に既存産業の情報産業化も進展している。

このように情報化は、少子化や高齢化などと連動しながら、経済や産業の構造、および雇用や労働のあり方を変える可能性があり、これらの事柄は現代やこれからの社会における必須の問題領域になると考えられる。

それゆえ、情報化と経済の問題を広くとらえ、少子化や高齢化などとの連動も考慮に入れつつ、現代社会における経済や産業の構造、雇用や労働についての研究を行い、これらについて、授業で講義し、ゼミナールのテーマとして学生を指導できる教員を求めたい。

なお、上記の視点を重視した形での講義科目「情報産業論」を担当できることも望ましい。

#### 4 任用予定日

2019年4月1日

#### 5 任用職名に対する応募資格

##### (1) 准教授で応募の場合

次のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者

ア 大学において准教授又は3年以上の専任講師若しくは助教の経歴を有し、かつ、教育研究上の業績（学術論文または著書8本以上）があると認められる者

イ 大学又はこれに準ずる研究所、試験所、調査所等で、本大学の定める授業科目に関連する業務に相当期間従事した経歴を有し、かつ、研究上の業績（学術論文または著書8本以上）があると認められる者

##### (2) 専任講師で応募の場合

次のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者

ア 大学において専任講師又は2年以上の助教若しくは助手の経歴を有し、かつ、研究上の業績（学術論文または著書3本以上）があると認められる者

イ 修士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有し、研究上の業績（学術論文または著書3本以上）があると認められる者

#### 6 応募書類

本学部ホームページにおける公募サイトをご確認ください。

7 選考方法

第1次審査（書類選考）：7月中旬 審査結果発送

第2次審査（模擬授業またはプレゼンテーション及び面接等）：8月6日実施（予定）

8 応募締切日

**2018年7月10日（火）17時 必着**

9 申込み方法

はじめに別表のWebエントリーを行い、その他の応募書類一式を揃えて、期限内に指定の方法で送付のこと。必ずWebエントリーと応募書類の郵送の両方を行うこと。

封筒に「**応募書類在中（情報社会と経済）**」と朱書きの上、ゆうパック、宅配便等で送付のこと。（応募書類持参不可）

※ 注意：Webエントリーと郵送応募書類の両方が応募締切日までに届かない場合は、応募が無効となりますので、ご了承下さい。

※ 応募書類は原則として返却しません。ただし、同封業績の絶版等の特別な理由により返却希望の場合は、宛名を書いた返送用封筒等に簡易書留郵送分の切手を貼付し（他の料金受取人払いの方法も可）、同封すること。

10 応募書類の提出及び問合せ先

〒101-8301 千代田区神田駿河台1-1

明治大学教務事務部情報コミュニケーション学部事務室気付

明治大学情報コミュニケーション学部学部長宛

問合せ先 明治大学教務事務部 情報コミュニケーション学部事務室

Fax 03-3296-4351

E-mail : infocom@mics.meiji.ac.jp

電話での問い合わせには応じかねますので、ご了承ください。